

片付けが苦手!?

机の上に物が散乱している

引き出しの中がぐちゃぐちゃ



プリントの整理ができない

ワンポイントアドバイス!

プリントを入れる箱やファイルを準備したり、教科ごとに分けて入れられるように仕切りを使ったりすることで、片付けやすい環境を整えるとよいでしょう。

“構造化”がポイント!



チェックポイント “空間認知”

文字を読むには形の違いがわかり、書くには線の方向性や線と線との位置関係の理解も必要になります。位置関係がわかりやすいように補助線入りのノートを使ったり、文字を指でなぞりながら読んだりなど学習を工夫しましょう。

編集後記

「ちゃんと片付けなさい!」…つつい私も使ってしまうフレーズです。どこに何を入れるとよいのか分かりやすい環境に整えてあげると、子どもは片付けやすく、大人は叱らずにすむかもしれませんね。

一般社団法人
熊本県作業療法士会 事務局

〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-17
TEL096-389-6780 FAX096-389-6785
<http://www.kumamoto-ot.jp/>

「学びにくさ」を理解するために

国語

書き取り



なぜできないの?!

算数

指示があっても動けない



そんな時は

作業療法士に相談してみませんか?



～あそび・学び・生活を支援します～

あそび

あそびを通して、体の発達を促したり、コミュニケーション力を伸ばすお手伝いをします。

学び

子どもさんにあった学習道具の紹介や教室でできる工夫を保護者や先生と一緒に考えます。

生活

家庭や園、学校でできる環境の工夫をご提案します。

あそび

学び 生活

子どもの学習におけるいろいろな苦手さについて

子ども自身も、一生懸命頑張っていることを知りましょう。



いろいろな学習の場面で「なぜできないの?」などと思うことはありませんか?

子どもの学習において、読めない、書けない、同じ間違いを繰り返す、手順が覚えられない、などはありませんか?わたしたちが無意識に行えていることでも、学習場面で難しさを抱える子どもが中にはいます。そんな時、「ちゃんと読んで! (書いて)」「何回も同じことをしない!」などと注意をしがちです。今回は、「学ぶことの苦手さ」について、作業療法士の視点から工夫をご紹介します。

国語

- ・書き順が覚えられない
- ・「つくり」と「へん」がわからない



書き取り

- ・書き写しができない
- ・似ている形の区別ができない
- ・奥行を捉えることが苦手



算数

- ・ひっ算をすると桁がずれる
- ・九九を覚えられない



指示があっても動けない

- ・行動がワンテンポ遅れる
- ・忘れ物が多い
- ・メモはできたが1つしかできていない



作業療法士の視点で考える 主な原因について

つまづくポイントは一人ひとり違う…

下に原因以外にも学習の苦手さは様々です。子どもの認知のタイプや思考方法にあった指導ができているかどうか、見直してみるとよいでしょう。



※その他、動機づけができていない、興味がないなど子ども一人ひとりで原因が違います。また、複数の原因が重なっていることも珍しくありません。

得意な学習の方法を見つけよう!

◆どっちが覚えやすい?

例えば漢字の “山”

形や成り立ちで覚える

「真ん中を引いて、左、右」などリズムで覚える

◆学習の仕方のタイプは?

視覚優位タイプ

視覚優位タイプは、言葉でたくさん伝えられるよりも、やることや手順などを紙に書いて残しておくほうがあっています。また、図や絵を書いて示したほうが理解しやすい点もあります。

聴覚優位タイプ

聴覚優位タイプは、順序立てて説明することで理解しやすいタイプです。学習においては、丁寧に説明してあげることが大切です。

※上記以外にも学習の仕方のタイプは様々です。例えば、ワーキングメモリー(記憶する力)の苦手さがあれば、計算の繰り上りや繰り下がり、手順を覚えられないなどの苦手さが出る場合があります。子ども一人ひとりの得意・不得意を整理し、それにあった学習方法を提供することがポイントです!